

19-03-25

2019年度 名古屋鉄道 設備投資計画

～鉄道事業を中心に総額 393 億円～

名古屋鉄道では、積極的な成長投資による事業基盤の拡大・収益力の強化の実現に向け、2019年度設備投資計画をまとめました。

2019年度の主な投資として、鉄道事業については、旅客安全・運転保安工事およびサービス改善工事等に172億円、開発事業では、当社沿線地域における不動産開発や、既存の保有施設の改修などに201億円、その他においては、IT機器・システムの更新などに20億円、総額393億円の設備投資を行います。

<主な投資項目>

(鉄道事業)

- ① ホームの安全対策など旅客安全・運転保安工事の推進・継続
- ② 新型通勤車両 9500 系を 16 両新造
- ③ 駅バリアフリー化やインバウンド受入環境整備などサービス改善工事

(開発事業)

- ① ホテルインディゴ 犬山 有楽苑の建設に着手
- ② 神宮前東街区に複合施設の建設に着手
- ③ 当社駅における商業施設の開発

鉄道事業 [172 億円]

鉄道事業では、①ホームの安全対策や土木・電気設備の改良など旅客安全・運転保安工事に101億円、②新型通勤車両9500系の新造や、③駅バリアフリー化、インバウンド対応などサービス改善工事に71億円の計172億円を投資します。

1 旅客安全・運転保安工事(101億円)

(1) ホームの安全対策

- 名古屋本線 金山駅において、ホームドア設置に向けた検討を引き続き行います。
- ホーム転落対策として、列車の乗務員に異常を知らせる危急知らせ灯を増備します。

(2) 高架化

- 安全対策の推進と都市計画事業の一環として、3カ所で高架化工事を引き続き実施します。



知立駅付近高架化工事



喜多山駅付近高架化工事



布袋駅付近高架化工事

	路線名	区間	距離	除却踏切数
知立駅付近 高架化工事	名古屋本線 三河線	一ツ木駅～牛田駅間	1.6km	2箇所
		重原駅～三河八橋駅間	3.4km	8箇所
喜多山駅付近 高架化工事	瀬戸線	小幡駅～大森・金城学院前駅間	1.9km	8箇所
布袋駅付近 高架化工事	犬山線	石仏駅～江南駅間	1.8km	6箇所

(3) 踏切道保安設備の新設・更新

- 踏切道の保安対策として、踏切障害物検知装置の設置、踏切遮断機の更新などを行います。

(4) 災害対策の推進

- 大規模地震による被害を最小限に抑えるため、高架橋柱などの耐震補強を大曽根高架橋などで実施します。

(5) 土木施設の改良

- 列車の乗り心地の向上を図るため、津島線などにおいて、まくらぎのPC化を実施するほか、列車走行音や振動を軽減するため、名古屋本線(奥田駅～国府宮駅間、舞木信号所～名電山中駅間)・犬山線(江南駅～柏森駅間)においてロングレール化工事を実施します。

(6) 電気施設の改良

- 安定した電力供給を図るため、名和変電所、猿投変電所、石仏変電所など沿線各所で電力設備を更新するほか、き電線の増強・改良などを実施します。
- 保安度の向上を図るため、転てつ機と信号機の動作を制御する連動装置を更新するほか、列車無線基地局を更新します。

2 サービス改善工事等(71億円)

(1) 車両の新造

- 当社初の車内防犯カメラ、多言語に対応した車内案内表示器、および無料 Wi-Fi サービス「MEITETSU FREE Wi-Fi」を搭載した新型通勤車両 9500 系を 16 両(4 両組成×4 編成)新造します。



9500 系(外観)



9500 系(内観)

(2) 特別車両券(ミューチケット)のインターネット予約の導入

- 特別車を利用されるお客さまの利便性および快適性の向上を目指して、特別車両券(ミューチケット)のインターネット予約を開始します。



インターネット予約画面 ※イメージ

(3) インバウンド受入環境の整備

- 一部特別車特急車両 2200 系などの各車両において、車内案内表示器の多言語化・駅ナンバリング表示を実施します。
- 一部特別車特急車両 2200 系・1200 系の一般車、および新型通勤車両 9500 系において、無料 Wi-Fi サービス「MEITETSU FREE Wi-Fi」を提供します。
- 犬山駅、栄町駅など、多言語対応案内機器「POCKETALK® (ポケットーク) W」や「メガホンヤク®」の導入駅を拡大するほか、駅構内の案内標識の多言語化を推進します。
- 名鉄名古屋駅、名鉄岐阜駅など、駅トイレの洋式化・温水洗浄便座の設置を実施します。



多言語での車内案内表示・駅ナンバリング

(4) 駅改良・バリアフリー化工事

- 名古屋本線 新安城駅(安城市東栄町一丁目 1 番 5 号)の自由通路の設置に合わせた橋上駅化、豊川線 豊川稲荷駅(豊川市豊川町仁保通 18 番地)の駅舎建て替え、および小牧線 味美駅(春日井市西本町一丁目 16 番地 1)や瀬戸線 水野駅(瀬戸市效範町二丁目 75 番地)の駅舎新設・改良に着手します。
- 各務原線 新那加駅(各務原市新那加町 27 番地)、小牧線 小牧口駅(小牧市大字北外山 1897 番地 2)のバリアフリー化を引き続き実施します。
- 名古屋本線・常滑線 神宮前駅(名古屋市熱田区三本松町 18 番 1 号)において、一昨年度からの継続工事として、曲線改良やホーム改良工事を実施します。
- 名古屋本線 西枇杷島駅(清須市西枇杷島町川口 37 番地 2)において、ホーム改良や駅舎建て替えなどに着手します。

(5) 女性従業員用宿泊施設の整備

- 女性従業員の更なる活躍を推進するため、女性従業員用宿泊施設を引き続き整備します。

開発事業 [201 億円]

- 名鉄犬山ホテルの営業を2019年8月末で終了し、2021年度下期の開業を予定する「ホテルインディゴ 犬山 有楽苑」の建設に着手します。



ホテルインディゴ 犬山 有楽苑 ※イメージ

- 神宮前東街区においては、2020年度下期の竣工を目標に、商業施設「μPLAT 神宮前」と賃貸住宅「meLiV」シリーズの複合施設の建設に着手します。



μPLAT 神宮前(内部) ※イメージ

- 上記の他、瀬戸線 大曽根駅において、商業施設「μPLAT 大曽根」の開発を引き続き実施します。

その他 [20 億円]

- 名駅再開発の具体化に向けた計画の推進を図ります。
- IT 機器・システム更新などを図ります。

※名古屋鉄道を含む2019年度の名鉄グループ設備投資計画額は、826億円。